ジュニア賞

交通標語コンテスト

紀井　晴道（中等 4 年次：茨城県）

◯このゲームを作った動機
先日、学校で行われた講話で自転車事故による死傷者数が年々増加していることを知った。詳しくインターネットで調べると、若い世代が当事者の事故が多いことが分かった。事故を起こしてしまう原因は不注意によるものが大きいが、ルールを知らないままに事故に発展してしまうという場合も同様に多い。きちんとしたルールを知り、安全に自転車を運転するようにすることで事故が減ると考え、このゲームを作った。

◯準備
ゲームは 4 人以上で遊ぶ。準備物は自転車の交通ルールが書かれたルールカード、タイマー、紙、ペン。

◯解決するためのゲーム案
集まった人たちで円を作って座る。「親」を一人決める。
親が事前に準備されたルールカードを 1 枚めくる。親がそのカードを読み上げる。
そのルールについての標語を 5 分で考える。親は 5 分タイマーをスタートする。
タイマーがなったら親から時計回りに標語を発表する。
全員が発表したら全員一番良い標語を作っていると思った人の名前を紙に書き、親に渡す。
親は集計して一番票が多い人の名前を発表する。自分の標語が選ばれた人はもう一度自分の標語を読む。
これを 5 セット～ 10 セット繰り返し、1 番選ばれた回数が多い人の勝利。

◯見込む効果
このゲームを通して、遊んだ人は交通ルールを覚えることができると思った。自分で標語を作ることでルールを覚えることができると思った。またこのゲームは学生向けに作ったが、幼児や大人も誰もが友達と話しながら楽しくできると思う。
このゲームはどこにいても誰とでも簡単に遊ぶことができるので手軽にルールを覚える機会ができると考える。
交通ルールを覚えるのにとても分かりやすい遊びなので幼稚園や保育園、小中学校の授業でも取り入れることができる。また、小中学生が夢中になり休み時間などに遊んだらより多くのルールを覚えられる。
きちんとルールを覚えることでルール違反による事故が減ると考える。